

県大生・短大生のための英語多読スタートガイド

英語多読をはじめよう！

英語多読とは、

自分のレベルにあったやさしい英語の本を大量に読むことで英語力を身につける学習法です。

辞書を引かなくても読める、きわめてやさしい本から読み始め、少しずつレベルアップしながら楽しんで読んでいくうちに、いつのまにか、日本語を思い浮かべることなくすらすらと読めるようになっていきます。

図書館には、多読にぴったりのやさしい英語の本がたくさん揃っています。楽しくマイペースで続けられる多読をあなたも始めてみませんか？



静岡県立大学附属図書館(草薙図書館・小鹿図書館)

■多読のコツは？

多読を楽しく続けるためのコツは次の3つ。『多読三原則』と呼ばれています。

1.「辞書は引かない」＝「辞書を引かなくてもわかる本を読む」

多読の大事なポイントは、英文を和訳するのではなく、英語を英語のまま理解するようにすることです。文法を頼りに辞書を引ながら読むのでは時間がかかり、読書を楽しむことができません。辞書を引かなくても楽しめるやさしい本から始め、左から右に素直に読んでいく習慣をつけましょう。

2.「わからないところは飛ばす」＝7～9割の理解度でも気にせず読み進める

「100%理解」にこだわる必要はありません。わからないところは読み飛ばし、わかるところをつなぎ合わせて意味を把握していきましょう。

3.「つまらなくなったらあとまわし」＝楽しく読めない本は読まない

おもしろくない、内容がよくわからない、と思ったら、別の本にチャレンジしましょう。“読書を楽しめているかどうか”の感覚を優先してください。

読むのに時間がかかりすぎる、飛ばす部分が多い本は、今の自分のレベルにあっていないのかもしれない。無理をして難しいものを読まないことも大切です。

■どんな本を読めばいい？

多読に適した本には次の2種類があり、それぞれに特長があります。

Graded Readers = GR

英語学習者向けに段階別に作られたリーダーです。レベルごとに使用語彙やテキストの長さ制限があり、文法も、基本の現在形から徐々に複雑なものへとレベルが上がるようになっています。

Leveled Readers = LR

英語圏の子ども向けの段階別リーダーです。英語独特の英語らしい表現に触れることができます。

図書館には、電子ブックで読めるものを含め、多数のGR、LRのほか、多読に適した児童書がそろっているので、自分のレベルにあわせて自分の好きな本を選ぶことができます。

本の難易度(レベル)について

多読をスムーズに進めるためには本の難易度の目安が必要です。GRやLRはレベル別に出版されていますが、GRとLRでは本の種類が違い、また、出版社ごとにレベル分けが異なっているため、難易度の比較はしにくいです。

そのため、レベルについては、YL＝「読みやすさレベル」を参考にするといよいでしょう。YLとは、SSS 英語多読研究会が定めた読みやすさの基準で、実際に多読をしている人の意見を集約して「日本人の学習者にとっての読みやすさ」を数値化したものです。数値が小さいほど読みやすいことを示しています。(同じYLでも読みやすさは読む人の好みによっても異なります。)

YLは、図書館所蔵のGR、LRのシリーズ別リストで確認できます。

■まずはここから

最初は「これなら簡単」「ちょっと簡単すぎるかな」と思えるくらいのやさしい本を読み、英語を英語のまま理解する感覚をつかみましょう。英語に自信のある方も Level0(YL0.0-0.9)のものから始め、多読・速読の感じをつかむところからスタートするのがおすすめです。

- ① 多読の入門におすすめなのが次の 2 つのシリーズ絵本です。

Oxford Reading Tree [Stage5-Stage9]

イギリスの小学校で教科書や副読本として使われている定評のある絵本です。シリーズ全体を大きな物語として楽しめます。

(小鹿図書館の英語多読コーナーに、Stage5-Stage9 がそろっています。)

Foundations Reading Library [Level1-5]

多感な高校生たちが主人公の英語学習者向けのシリーズです。基本的な単語だけで書かれ、英語の土台作りに適しています。

(電子ブックで読むことができます)

- ② シリーズ絵本に慣れたら、YL2 未満までの薄い本をやさしいものから順にたっぷり読んでいきましょう。レベルはゆっくり上げていった方が多読をスムーズに続けられます。GR を中心に読み、LR ややさしい児童書も試してみましょう。音声 CD があるものは、朗読に合わせてテキストを読む「聞き読み」を取り入れると、日本語に訳さずに読む練習になります。
- ③ 短いものに読み慣れてきたら、少しずつ長いものを取り入れていきましょう。難しいと感じたり、読むのに疲れたと感じたら、やさしい本に戻ったりしながら無理なくレベルを上げていきましょう。

■どのくらいの量を読めばいい？

30 万語の読書を目安に英語を日本語に訳すクセがなくなり、英語のまま読める実感がもてるようになります。

SSS 英語多読研究会では 100 万語単位での読書を目指しており、YL3 までの本で 100 万語を読むのが望ましいとされています。

本の語数は、図書館所蔵の GR、LR のシリーズ別リストで確認できます。

■長く続けるには？

語学学習には継続が不可欠です。電車の中や寝る前の 10 分間など、隙間の時間を利用して生活の中に読書時間を組み込みましょう。

読書記録をつけることも継続のモチベーションを維持するのに役立ちます。図書館の GR、LR シリーズ別リストは、読書記録ノートとしても利用できます。冊数・語数が増えていくことで読書の達成感が味わえます。

図書館で利用できる GR、LR 一覧

※別刷りの GR、LR のシリーズ別リストで、タイトルごとの総語数や YL を確認することができます。

(冊子)

図書館の多読図書コーナーにあります。

	シリーズ名	レベル	所蔵館	音源
LR	Oxford reading tree	Stage5 - Stage9(YL0.5 - 1.4)	小鹿	CD 有
GR	Penguin readers	Easystarts - Level5(YL0.8 - 6.0)	草薙	
		Easystarts - Level6(YL0.8 - 7.0)	小鹿	
GR	Macmillan readers	1.Starter - 6.Upper (YL0.8 - 5.0)	草薙	CD 有
		3.Elementary - 5.Intermediate (YL3.0 - 4.0)	小鹿	
GR	Cambridge English readers	Starter - Level5(YL1.0 - 6.0) Starter - Level6(YL1.0 - 6.5)	草薙 小鹿	DL 可
GR	Oxford bookworms library	Starter - Stage5(YL0.8 - 5.0)	草薙	
		Starter - Stage6(YL0.8 - 6.0)	小鹿	
GR	洋販ラダーシリーズ	Level1 - Level5	草薙	
		Level1 - Level5	小鹿	

(電子ブック)

図書館 HP の電子ブックのページからアクセスしてください。本学のネットワークにつながっている端末からアクセスできます。ほとんどがリモートアクセスにも対応しているため、自宅からでも利用可能です。

	シリーズ名	レベル	音源
LR	Springboard connect	Level1 - Level30(YL0.1 - 2.0)	
LR	Step into reading	Step1 - Step5(YL0.3 - 2.6)	
GR	Foundations reading library	Level1 - Level7(YL0.6 - 1.4)	
GR	Macmillan readers	1.Starter - 6.Upper intermediate (YL0.8 - 5.0)	CD 有
GR	Page turners	Level1 - Level12 (YL1.2 - 5.0)	DL 可
GR	Read smart readers	Level2 - Level5	

この他にも、英語多読用に利用できる図書、児童書があります。図書館の多読図書コーナーや HP の電子ブックのページをご覧ください。

(参考文献・Web サイト)

- ・古川昭夫, 神田みなみ編著『英語多読完全ブックガイド』改訂 4 版 コスモピア 2013
- ・酒井邦秀著『快読 100 万語!ペーパーバックへの道』(ちくま文庫) 筑摩書房 2002
- ・『多読多読マガジン』コスモピア
- ・SSS 英語多読研究会 Web サイト
- ・NPO 多言語多読 Web サイト